

事務事業名		飲食・宿泊・タクシー業消費喚起支援事業		所属部	産業観光部	所属課	商工振興課
総合計画体系	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>		所属G	地域産業支援G	課長名	安部 哲男
	施策名	(37)商工業の振興		担当者名	金山 佳文	電話番号	0854-40-1052 (内線) 2443
	目的:対象	商工業事業所(者)	意図	経営の安定・強化を図り、雇用を拡大する。			
	基本事業名	(109)地場企業の経営支援		予算科目	会計 款 大事業 大事業 中事業 中事業 中事業	013550 051003	
目的:対象	市内事業所	意図	経営の安定・強化を図り、売上を伸ばす。				

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
新型コロナウイルス感染症の拡大による消費減退の影響を特に受けている飲食、宿泊、タクシー業を営む事業者が自らが自店舗でのみ使用可能な25%のプレミアム商品券を販売し消費喚起を促す。 一冊額面2,500円(500円×5枚)を2,000円で販売し、25%になる500円の販売冊数分を支援する。

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	R2年度実績(R2年度に行った主な活動) 事業実施者数(申請件数) 68件	R3年度計画(R3年度に計画する主な活動) 令和2年度の単年度事業				
	② 活動指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
	ア 対象となる業種の事業者への周知	事業者	-	-	140	-
	イ					
	ウ					
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
	対象事業者	ア 対象事業者数	事業者	-	-	140	-
		イ					
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
	20%のプレミアム商品券を事業者自ら販売し、消費を促すことで、販売額面以上の売り上げの増加につなげる。	ア 事業実施者数	事業者	-	-	71	-
		イ					
		ウ					

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳(2年度決算)	② コストの推移	単位	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(計画)
事務費等 668千円 補助額 5,500千円	財源内訳	千円			6,168	
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円				
	事業費計(A)	千円			6,168	
	人件費	人			2	
	正規職員従事人数	人			34	
	延べ業務時間	時間			143	
	人件費計(B)	千円			143	
	トータルコスト(A)+(B)	千円			6,311	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
令和2年に入り本格的に新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大したことにより、外出自粛、消費活動の減退により、飲食宿泊サービス業をはじめ、市内事業者の経営に大きな影響を与えた。	単年度事業なので特になし。	商品券を事前に販売することによって、現金が先に貰えることが評価された反面、市からの支払いが、事業完了後になることについて、一部で不評もあった。

事務事業名	飲食・宿泊・タクシー業消費喚起支援事業	所属部	産業観光部	所属課	商工振興課
-------	---------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由 新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急的な対策であり、施策との整合性はない	
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input type="checkbox"/> 結びついている *余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である *余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	単年度の緊急的な事業であるため向上の余地はない	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	単年度の緊急的な事業であるため影響はない
<input checked="" type="checkbox"/> 影響無	<input type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒(具体的な手段や類似事業名)	理由		単年度の緊急的な事業であるため統廃合、連携はできない
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない			
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		単年度の緊急的な事業であるため削減の余地はない
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？正職員以外や外部委託ができないか？			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		単年度の緊急的な事業であるため削減の余地はない
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正か？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由		単年度の緊急的な事業であるため適正化の余地はない
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 引き続き、新型コロナウイルス感染症に係る感染症対策や経済対策が必要であるが、本事業により市内の消費喚起が図られた。	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
		B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下	×	×
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持		×																
	低下	×	×																